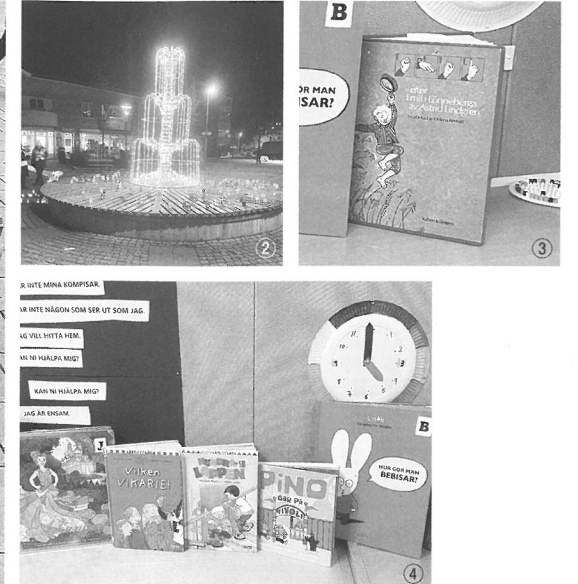


Hej!



世界の風 from Sweden —スウェーデン—

第5回 世界一強い女の子ピッピと光のマニフェスト



①②就学前学校の幼児が色を塗った再利用の瓶のキャンドルによる光のマニフェスト／③アストリッド・リンドグレンの『いたずらっ子エーミル』の響の子ども向けに書かれた本／④私のクラスの生徒たちが選んだお気に入りの本

みなさん、こんにちは！ スウェーデンで教員をしているサリネンです。みなさんは11月17日と11月20日が何の日かご存じですか？ スウェーデンではとても大事にされている日で、11月17日は「読書の日」、11月20日は「国際子どもの日」です。この日に合わせて、多くの小学校では「子どもの本週間」、就学前学校では「子どもの権利週間」が行われます。

この両方の日に忘れてならない人が『長くつ下のピッピ』を始めとする多くの物語を書いたアストリッド・リンドグレンです。私の学校の「子どもの本週間」のテーマは彼女でした。アストリッド・リンドグレンについて学び、本を読みました。生徒たちはお気に入りの本を紹介したり、本の交換をしたりもしました。金曜日には学校の職員がピッピなどの物語の登場人物に扮して、子どもたちは大喜びでした。

このアストリッド・リンドグ



サリネンれい子
特別支援学校教員
スウェーデン在住

レーンがさまざまな形で訴え続けてきたのが子どもの権利でした。スウェーデンでは「国際子どもの日」とされています。2022年は11月20日が日曜日だったので、その前後の日にスウェーデン国内の多くの街の中心部で写真にあるような「光のマニフェスト」が行われました。

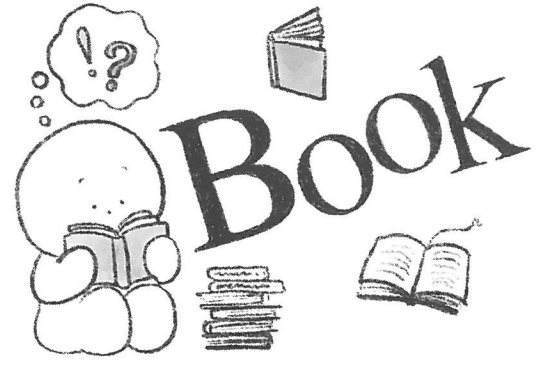
就学前学校に通う幼児たちが、空き瓶を再利用して色を塗り、キャンドルを灯し、道行く人々に改めて子どもの権利について考えてもらおうのです。

こうしてアストリッド・リンドグレンの思いは、さまざまな形でスウェーデンの人々に引き継がれているのです。

編集後記

2020年に東海テレビ制作の『さよならテレビ』というドキュメンタリー映画を観に行きました。するとスクリーンに突然中高の同級生が！ 友人伝いで彼女に連絡をとり、映画の感想を伝えたところ、そこから時々連絡をとることで、新たな映画『チョコレート人々』について教えてもらいました。この映画のように時々苦くても湯たんぽみたいにじんわりあたたかい空間が世界中に拡がるといいなあと思いました。(神野)

映画『チョコレート人々』では、仕事に人を合わせるのではなく、人に仕事を合わせることを貫かれています。失敗しても何度でもやり直せばいいというメッセージにもとても共感。働くってどういうことなのか、ふと立ち止まって考えさせてくれる映画です。映画館でしか観れない東海テレビドキュメンタリー映画。ぜひお近くの劇場に足を運んでほしいです！(社浦)



Book

バスが来ましたよ
アリス館
定価1540円

難病で視力を失った和歌山県の山崎浩敬さんが、10年以上にわたり地元の小学生に助けられながらバス通勤をしているという実話が絵本になりました。「バスが来ましたよ」という一人の女の子の声かけから始まったバトンは、次々に受け継がれていきます。子どもたちの行動と山崎さんのやさしいまなざしに心があたたかくなります。

社会保障裁判研究
ミネルヴァ書房
定価8800円

小川政亮編『社会保障裁判—戦後社会保障権運動の発展』（1980年）を受け継ぎ、金沢大学名誉教授の井上英夫さんと研究・実践を共にする執筆者たちによる労作。朝日訴訟からはじまった社会保障裁判は「第4の波」と呼ばれる大きなうねりのなかにある。理論面、運動面での新たな局面も。人権としての社会保障確立のために。

自閉症のあるぼくの毎日
マリ・シュー文
イザベル・ムニョス 絵
大月書店
定価2200円

「障害があってもいっしょだよ！」シリーズ第1弾。アメリカで刊行された児童書の翻訳版です。障害のある子ども自身を語り手として、自分がどんな毎日を過ごしているかを語る、低学年からの障害理解のための絵本です。巻末には別府哲さんによる大人向けの解説が収録。障害のある子どもの思いにやさしくふれることができる一冊です。

映像作品が私たちに与えるインパクトは大きい。人は外界の情報の8割を視覚から得ていることから考えても、映像の力は偉大だ。一方で、視覚情報にアクセスすることがむずかしい人たちは、触覚、嗅覚、味覚、聴覚など、多彩な感覚を通して周囲を観る。「見えないけれど観えるもの」という藤井克徳さんの言葉は重い。一つの映画の根底に流れる本当のストーリーを「観て」味わえる人になりたい。(塚田)

テレビ大好きな私。最近は複数のネット配信で視聴しています。今年度の私のオススメは韓国ドラマ『ウ・ヨンウ弁護士は天才肌』。自閉スペクトラム症の弁護士が活躍するものです。主人公だけではなく、さまざまな障害のある人が登場し、日本では扱われにくいテーマにも切り込んでいる本作。初回の最初のタイトルバックを見るだけでしっかりと作られていることがわかります。(児嶋)

次号予告 3月号
[特集] 放課後等
デイサービス (仮)
■放課後活動のいま
村岡真治 (ゆうやけ子どもクラブ)

みんなのねがい
2月号(第686号)
定価715円(本体650円・税65円)
2023年2月1日発行

編集責任者 塚田直也
発行人 越野和之
発行 全国障害者問題研究会出版部
東京都新宿区西早稲田2-15-10
西早稲田関口ビル4階
電話 03-52285226001
FAX 03-52285226003
●全障研出版部 振替口座 郵便局
001001211369006

印刷所 (株) 光陽メディア
本誌購読について
・個人で年間購読
出版部より郵送でお届けします。
年間9400円。
・書店やオンラインで申し込み
毎月(16日発売)お店で受け取ることが
できます。
雑誌コード「08441」